

# プレアボイド報告書

平成23年1月実施

報告日	医療機関	報告者	情報提供・疑義照会		情報提供	D フィードバック	E その他
			A 日時	B 内容	C 回避できた事由		
1 2011/1/27	GT薬局	薬剤師 S. Y	2011/1/21 PM4:00頃	服用薬剤の確認	退院時処方に記載が <b>手帳</b> にあった内容と今回処方(退院後初外来)時の処方内容について一部薬剤の用法が違っていたため確認 →結果、退院時処方と同じ処方であり、今回処方の記入ミスが分った	おこなった	
2 2011/1/21	H薬局	薬剤師 H. H	2011/1/20 PM4:05頃	薬剤アレルギーの確認	モーラステープLにて以前かぶれが酷く副作用があった。 今回モーラステープLが処方されていたのでDRIに疑義照会後ロキソニンゲルに変更された。 アンケート用紙にて確認し本人と話したあと疑義照会した。	おこなった	
3 2011/1/13	K病院	薬剤師 K・A	2011/1/13 AM10:00頃	その他 テオロン(200)2T朝・寝る前で服用中の患者にユニフィルLA(200)1T朝で処方	他医院にてテオフィリン400mg/Dayで処方されていたが、当医院にて200mg/Dayで処方されていた。 疑義照会により400mg/Day処方へ変更された	おこなっていない	
4 2011/1/17	K病院	薬剤師 N・I	2011/1/17 PM12:00頃	服用薬剤の確認 カロナール200mg4T朝夕14日分 →削除	骨折の疼痛に対して、カロナール処方あり、服薬指導中に <b>お薬手帳</b> を提示していただいた所、他医院より、ソランタールの処方あり。同効薬である為、主治医に確認。カロナール削除、湿布のみの処方となった		カロナール200mg薬価9円、1日4Tで14日分の為504円の削除
5 2011/1/29	K病院	薬剤師 T・Y	2011/1/29 PM12:50頃	その他 芍薬甘草湯7.5g3回60日分削除	持参薬にて桂枝加芍薬湯7.5g3回で服用中であったが、芍薬甘草湯が処方されており、鑑別書を見て、組成に両方とも芍薬と甘草が入っているため疑義照会語桂枝加芍薬湯の方が他の成分も入っている為、芍薬甘草湯を削除する	おこなっていない	芍薬甘草湯の1日量薬価は57.75円、60日分処方なので薬価だけでも3464円の削減
6 2011/1/31	ST薬局A	薬剤師 Y・S	2011/1/29 AM11:00頃	薬剤アレルギーの確認+重複投与 アレグラで発疹歴ありの方で、他医院にてジルテックが処方されているのを確認	初回問診により確認できた。(薬歴記入)Drにアレグラでのアレルギー歴、他医院よりジルテック処方の旨、疑義照会後アレグラ中止となる	おこなった	アレグラ2T1日薬価164.6 1日薬価×処方日数分の削減
7 2011/1/31	ST薬局B	薬剤師 K・I	2011/1/31 AM11:00頃	重複投与(服用薬剤の確認) ザイザルが処方されたが、他医院よりアレグラが処方されていた	かかりつけ医院の <b>薬情</b> をお持ちだった為確認、鼻水が出ると話した為アレグラ追加処方だったとの事。アレグラを飲み終わってから、ザイザルを服用してもらうように説明。重なって飲まないように説明	おこなわなかった	
8 2011/1/8	G薬局	薬剤師 T・T	2011/1/8 PM5:30頃	薬剤アレルギーの確認 セフェム系抗生物質にアレルギーあり	服薬指導時に患者本人よりアレルギーある事が判明。その旨、クリニックへ疑義照会しペニシリン系抗生剤へ変更になった。 セフジニル100mg3T3回→アモキシシリン250mg3c3回	おこなった	薬剤アレルギー等で禁忌薬がそのまま処方される事がある
9 2011/1/4	MT薬局A	薬剤師 Y・M	2011/1/4 PM3:00頃	重複投与 2箇所の医院より同じ薬処方	内科処方レバミピド100mg3T3回服用中であることを <b>お薬手帳</b> により確認、整形外科よりレバミピド100mg2T2回7日分処方。整形外科へ疑義照会レバミピドが中止となる。	おこなった	レバミピド2T1日薬価23.4 7日分薬価+調剤料の削減
10 2011/1/31	ST薬局C	薬剤師 T・F	2011/1/8 PM3:00頃	服用薬剤の確認(薬効成分の確認) 不整脈にリスクのあるβ-ブロッカー	不整脈既往歴の患者にコンプト点眼(β-ブロッカー+炭酸脱水酵素阻害)が処方されたが、もともとβ-ブロッカーを避けていた患者だったので、DRIに配合剤である事を確認疑義照会した。→エイゾプト点眼へ変更	おこなった	エイゾプト1本薬価2193 コンプト1本薬価3340 1147円の削減
11 2011/1/13	NT薬局	薬剤師 R・I	2011/1/13 AM11:30頃	重複投与 ラデン150mgが処方されたが他医院よりガモファーD20mg処方あり	<b>お薬手帳</b> により他医院よりガモファーD20mg、ムコスタ100mg常用確認、今回風邪薬と共にラデン150mg寝る前処方、疑義照会後ラデン錠は処方削除となった		ラデン150mg薬価11.1 5日分の薬価+調剤料

報告日	医療機関	報告者	情報提供・疑義照会		情報提供	D フィードバック	E その他
			A 日時	B 内容	C 回避できた事由		
12 2011/1/31	MT薬局B	薬剤師 K・A	2011/1/5 PM5:00頃	禁忌薬 エプピー錠とメジコン錠の禁忌	大学病院よりエプピー錠処方、他医院に風邪症状で受診メジコン錠処方された。エプピーとメジコンは禁忌の為、医院に疑義照会しアスベリン散へ処方変更	おこなった	夕方の処方箋受付となり、禁忌に気付いた時医院は閉院していた。自宅へ連絡し確認
13 2011/1/29	MT薬局C	薬剤師 Y・I	2011/1/28 AM11:00頃	重複投与 ジルテックとエバステルOD	併用薬確認の際、皮膚科よりジルテックを処方され服用中との事、耳鼻科よりエバステルOD錠が処方された為、疑義照会でエバステルが中止となった	おこなった	エバステルOD薬価117.9
14 2011/1/31	MT薬局C	薬剤師 H・K	2011/1/31 AM10:30頃	重複投与 ジルテック10mgとアレグラ60mg2T	お薬手帳により、内科より痒みがあるためジルテック10mgを常時服用している事を確認、A医院よりアレグラ60mg2T14日分処方、疑義照会によりアレグラが中止となった	おこなった	アレグラ60mg1日薬価164.6 14日分薬価＋調剤料の削減
15 2011/2/1	ST薬局C	薬剤師 Y・I	2011/1/25 AM10:20頃	重複投与 バナン錠とファロム200mg	お薬手帳による内容確認で他科でバナン錠処方確認、ファロム200mgが処方されていたためDRへ疑義照会しファロム中止となった	おこなった	
16 2011/1/5	リハビリ病院	薬剤師 K・M	2011/1/5 AM11:00頃	1. 服用薬剤の確認 セロクエル25mg 寝る前の量を確認 アクトネル17.5 1Tの服用曜日確認	セロクエル25mg 1/3T寝る前及び不眠時になっていたが、今まで経験がなかった為、誤記の可能性を考えて確認 アクトネル17.5は週1回起床時服用するが曜日等の記載がなかったので確認する	おこなわなかった	
17 2011/1/6	K.R病院	薬剤師 K・M	2011/1/6 AM11:00頃	1. 服用薬剤の確認 服用方法 エクセミドの量 アムロジンの規格	当院外来患者が骨折の為、他病院に入院した後当院に転院になった  看護転書ではエクセミド100mg1Tの指示になっていたが、本人は20%散1g1包を持参された。元々当院外来では25mg服用されていた為、増量の有無を確認、25mg処方が正しかったようなので持参薬1gを0.125gに分包し直す(入院中飲まれていたエクセミドは当院にて処方されたものとの事)  以前当院でアムロジン5mg2T2回で処方されていたが2.5mg2T2回の処方量で薬持参された。処方内容を確認すると5mg2T2回が正解であったことが解かった。	おこなった	当院外来患者→ 他病院入院→ 当院転院という経緯あり 外来はほとんど院外処方箋のため何故2.5mg2Tになったのか不明
18 2011/1/20	HT薬局	薬剤師 K・Y	2011/1/20 AM10:50頃	4. その他 服用方法について	大学病院よりムコダイン500 3T 1回朝で処方、疑義照会によって、ムコダイン500 3T 3回毎食後に変更	おこなった	
19 2011/1/8	U薬局	薬剤師 T・U	2011/1/8 PM5:15頃	重複投与 セファペンピホキシル塩酸塩2T2日分とジスロマック	歯科よりセファペンピホキシル塩酸塩が処方され服薬指導時に併用薬を確認、風邪で3日間服用で1週間効果ある薬を服用しているとのこと、歯科医に疑義紹介しセファペンピホキシル塩酸塩が中止となった	おこなった	
20 2011/1/5	U薬局	薬剤師 T・U	2011/1/5 AM11:00頃	重複投与 アレグラ60mgとセチリジン塩酸塩	お薬手帳により、耳鼻科よりアレグラ60mg 2T7日分処方を確認、皮膚科にてセチリジン塩酸塩10mg 1T10日分処方されていたため皮膚科へ疑義照会によりセチリジン塩酸塩中止となる	おこなった	
21 2011/1/11	U薬局	薬剤師 T・U	2011/1/11	副作用 ザイザルでの副作用	ザイザルが処方されていたが、前回ザイザルを1回服用して耳鳴りが激しかったとのことで、処方医に疑義照会後中止	おこなった	
22 2011/1/21	U薬局	薬剤師 T・U	2011/1/21 AM11:50頃	1. 服用薬剤の確認 デパス0.5mg1T 60日分処方	大学病院よりデパス0.5mgが処方されていたが服薬指導時、残薬が沢山あるとのことで、疑義照会により今回中止となった		

報告日	医療機関	報告者	情報提供・疑義照会		情報提供	D フィードバック	E その他	
			A 日時	B 内容	C 回避できた事由			
23	2011/2/1	Tファーマシー	薬剤師 Y・K	2011/1/21 AM11:30頃	1. 服用薬剤の確認 3. 調剤上の確認 一包化 デパケン錠とデパケンRの違い	SR病院より他薬+デパケン200mg6T2回28日分処方。前回の処方がデパケンR200mgで一包化であり、本人は変更とは聞いていないとのこと。デパケンは一包化不適であることも含め疑義照会しデパケンR処方であることを確認。薬歴により前回変更を確認して照会した。	おこなった	
24	2011/2/1	Tファーマシー	薬剤師 Y・K	2011/1/19 PM1:10頃	1. 服用薬剤の確認 ノックビン中止、SG顆粒頓服追加	他薬+ノックビン0.2g2回7日分処方されていたが、いつも必要と言われるSG顆粒の処方がない事に加え前回初めて出たノックビンは服用していないため残薬あることDRに伝えたとの患者の訴えあり、疑義紹介し入力ミスであった事が分った	おこなった	
25	2011/1/28	TT薬局	薬剤師 I・T	2011/1/28 PM4:45頃	副作用 肝障害の回避	平成22年1月からアレロック・キプレス・セレスタミン服用、大学病院での血液検査にて2/10はASP39ALT39,2/26はAS57ALT87だった為、ナゾネックス点鼻のみで治療継続、その後の肝機能は正常。23年1月28日再度キプレス・セレスタミン処方、DRに疑義照会しアレジオン20mg1T寝る前に変更。肝障害の回避が出来た(薬歴)	おこなった	併用薬ディオバン1T ちなみに大学でアレルギー剤としてアレジオン服用歴ある事も報告
26	2011/1/31	TT薬局	薬剤師 I・T	2011/1/27 AM9:16頃	禁忌薬 セレニカRとファロム錠	お薬手帳により、神経内科からセレニカR処方確認、耳鼻科よりファロム錠処方の為、耳鼻科DRへ疑義照会後ジェニナック錠に変更	おこなった	
27	2011/1/21	TT薬局	薬剤師 I・T	2011/1/21 PM5:40頃	副作用 クラリスでの副作用歴	薬歴にH19年11月SM病院処方のクラリスで薬疹が出た経験記載あり。今回耳鼻科にてクラリス錠処方の為、疑義照会しフロモックスDSへ変更した	おこなった	
28	2011/1/31	TT薬局	薬剤師 I・T	2011/1/19 PM4:20頃	禁忌薬 デパケンRとファロム錠	S県H病院よりデパケンR服用中であること薬歴に記載あり、耳鼻科よりファロム錠処方の為、耳鼻科DRへ疑義照会後パナン錠に変更	おこなった	H病院 コンサータ・ロナセン・デパケンR
29	2011/1/31	TT薬局	薬剤師 I・T	2011/1/18 PM5:35頃	副作用 オゼックスでの副作用歴	薬歴にH22年11月13日耳鼻科処方のオゼックスで薬疹が出た経験記載あり。今回同耳鼻科にてオゼックス錠処方の為、疑義照会しミノマイシン顆粒へ変更した	おこなった	
30	2011/1/31	TT薬局	薬剤師 I・T	2011/1/13 AM10:50頃	4. その他 授乳中の患者対応	耳鼻科よりジェニナック処方、服薬指導時授乳中(頻回)であることが判明、DR疑義照会後ファロム錠へ変更	おこなった	
31	2011/1/31	TT薬局	薬剤師 I・T	2011/1/4 PM2:35頃	副作用 メイアクトでの副作用歴	薬歴に幼児期に小児科で処方されたメイアクトDSで薬疹の経験あること記載あり、耳鼻科よりメイアクト処方の為、疑義紹介後フロモックスへ変更	おこなった	
32	2010/2/1	Y薬局	薬剤師 M・S	2011/1/6 AM10:4頃	重複投与 タケプロン15mgとファモチジン20mg	他科受診の有無を確認したところ他医院にてタケプロン15mg服用中とのこと、持参された処方箋にファモチジン20mg処方あり、処方医に疑義紹介しファモチジン20mgは中止となった。	おこなった	
33	2011/2/1	M薬局O店	薬剤師 H・M	2011/1/11 PM3:30	重複投与 アデホス顆粒	お薬手帳により耳鼻科にてアデホス顆粒処方確認、脳神経外科よりアデホス顆粒処方された為、脳神経外科DRに疑義照会し中止となる	おこなった	
34	2010/11/22	H薬局	薬剤師 R・S	2010/11/20	重複投与 オプチラン錠とオパルモン錠	お薬手帳により、循環器科からオプチラン(プロレナル)2T2回28日分処方確認、整形外科よりオパルモン3T3回7日分処方された為、整形DRに疑義照会後オパルモン中止となった。		
35	2011/1/31	O薬局S店	薬剤師 Y・T	2011/1/31	禁忌薬 緑内障の患者にPL顆粒	問診表の服用中の薬を記入する欄や併発している病気確認で緑内障の薬を服用中であることが解かり、病院へ疑義照会しPL顆粒が中止	おこなった	
36	2011/2/1	K.I病院	薬剤師 T・E	2011/1/27	重複投与 クラリス(入院時持参薬確認)	副鼻腔炎で耳鼻科での定期処方薬(一包化)にクラリス1T朝継続服用中であったが、風邪で他医院にかかった際にクラリス2T朝夕処方された→クラリス2Tのうち朝の分は服用しないように指導した。	おこなわなかった	

報告日	医療機関	報告者	情報提供・疑義照会		情報提供	D フィードバック	E その他
			A 日時	B 内容	C 回避できた事由		
37 2011/2/1	K.I病院	薬剤師 N・S	2011/1/27	重複投与 タケプロンODとガスターD	昨年12月は当センターでタケプロンOD処方、他医院にてパリエット処方、その際パリエットを調剤された薬局にて同時に服用しないように説明され、 <b>お薬手帳</b> にもコメントされていた。その後、1月の再来時にはパリエット→ガスターDへ処方変更、その際には特にお薬手帳にも記載はなくタケプロン・ガスター両方服用され入院となった。それぞれの薬を調剤した薬局に問い合わせを行ったが詳細は解からない。	おこなわなかった	